

2023年8月23日

BMW グループ、ミュンヘンの IAA モビリティ 2023 に出展

**BMW グループとそれぞれのブランドのトランスフォーメーションを紹介
電動化、デジタル化、循環型経済への取り組みに注力**

BMW Vision Neue Klasse を世界に初披露

**インディビジュアル・モビリティの未来を市内中心部の展示会場とオープン・スペースに
展示**

BMW、MINI、BMW Motorrad は、電動パワートレインを搭載した最新モデルを展示

ミュンヘン発：ミュンヘンで開催される国際モーターショーIAA モビリティ 2023 において、BMW グループの重点分野である、電動化、デジタル化、循環性において、進行中の変革的な取り組みの最新ハイライトを発表する。BMW、MINI、BMW Motorrad の各ブランドが提供する電動パワートレイン搭載型の最新モデル、さらにビジョン・ビークルやこれからの世界におけるインディビジュアル・モビリティのコンセプトは、いずれもこれらの分野における BMW の革新的な強みを強調するものである。パーソナル・モビリティ新時代の幕開けが近づくなか、BMW グループは最新ハイライトである BMW Vision Neue Klasse(ビジョン・ノイエ・クラッセ)を発表する。これは、未来のモビリティにとって極めて重要な3つの分野において、グループの開発ノウハウを結集したものである。

IAA モビリティがミュンヘンで開催されるのは、今回が2回目。BMW グループとそのブランドにとって、これは地域の人々、ミュンヘン市外からの来場者、その他の関係者と共に、インディビジュアル・モビリティの未来について、前向きな対話を行う絶好の機会となる。2023年9月5日～10日の期間中、BMW、MINI、BMW Motorrad は、エキシビジョン・センターで開催される IAA モビリティ・サミットおよびミュンヘン中心部のマックス・ヨゼフ・プラッツにある BMW グループのオープン・スペースを主会場として、新製品を発表する。来場者はこの場で、BMW Vision Neue Klasse についてのみならず、様々なモデル、とりわけ電気自動車である BMW i5 について知識を深めることができる。また、新型電気自動車 MINI Cooper、新型電気自動車 MINI Countryman および BMW CE 02 eParkourer のワールド・プレミアも予定している。

BMW グループの重点分野は、電動化、デジタル化、循環型

IAA モビリティ 2023 における BMW グループのプレゼンスは、未来に向けた電動化、デジタル化、サーキュラー・モビリティへの厳格なフォーカスと、これらの分野における最新の成果を中心に展開される。BMW Vision Neue Klasse には、グループの各ブランドから、その電動パワートレイン、デジタル・イノベーション、資源効率に優れたマニュファクチャリングなどが、さまざまな方法で現在進行中の変革のプロセスを示す選りすぐりの新型モデルが加わる。

BMW ブランドが発売予定である新製品には、新型 BMW 5 シリーズのプラグイン・ハイブリッドが含まれる。新型 BMW i7 プロテクション（高級セダン・セグメントで初となる電気自動車のプロテクション・ビークル）も IAA モビリティ 2023 で初披露される。

MINI は、ブランドの新モデルファミリーに加わる 2 つのモデル、新型電気自動車 MINI Cooper と新型電気自動車 MINI Countryman の両方をオープン・スペース会場で世界初公開する。

マックス・ヨゼフ・プラッツでは、BMW Motorrad のラインナップの中心となる完全電気駆動モデルも発表される。先駆的なデザインを採用したコンパクトな eParkourer として開発された新型 BMW CE 02 は、アーバン・モビリティ・シーンに新たな刺激を与える。

展示モデルのテーマは、ローカル・エミッション・フリー・モビリティ

IAA モビリティは、9 月 5 日にミュンヘンのエキシビション・センターで開幕する。BMW グループは Hall A2 の会場で BMW Vision Neue Klasse を発表し、イベントの幕開けを飾る。また、完全電気駆動のプロテクション・ビークル、BMW i7 プロテクションも IAA モビリティ・サミットで初公開される。

IAA モビリティ・サミットは「Experience Connected Mobility (コネクテッド・モビリティの体験)」というスローガンのもと、主に商業者向けに開催される。数多くの講演やプレゼンテーション、パネルディスカッションを通じて、未来のモビリティのトレンドや技術革新を紹介する。中心的なトピックのひとつは、現在と将来の自動車のエネルギー源としての水素の利用である。BMW は、水素を燃料とする燃料電池駆動システムを搭載したスポーツ・アクティビティ・ビークルの開発と実用試験によって、この分野で先駆的な取り組みを行っており、BMW iX5 Hydrogen もサミットで展示される。

ローカル・エミッション・フリー・モビリティは、オープン・スペース会場での主要テーマでもある。BMW は、関連するすべてのモデル・セグメントにおいて、少なくとも 1 つの電気自動車モデルを提供している。コンパクト・スポーツ・アクティビティ・ビークル BMW iX1 から続き、BMW i4、BMW i5、BMW iX、そして高級セダン BMW i7 まで、電気自動車の全ラインナップを公開する。

マックス・ヨゼフ・プラッツのオープン・スペース会場は、9 月 5 日～9 日は午前 10 時～午後 10 時、9 月 10 日 (日) は午前 10 時～午後 5 時まで、無料で入場可能。さらに、BMW Welt は、IAA モビリティ 2023 の期間中も、すべての自動車ファンを魅了する場所としてオープンしている。ここでは、BMW、MINI、ロールス・ロイス、BMW Motorrad の各ブランドの現行モデル・ポートフォリオおよび、BMW と MINI の最新ライフスタイル・コレクションが紹介される。さらに、2023 年 9 月 2 日からは、BMW M GmbH とともに BMW Lifestyle が、センドリンガー通り 10 番地のホーフシュタット・ショッピング・センターで、GOODS WITH FREUDE のポップアップ・ストアを展開する。オープン・スペースから徒歩数分の場所に位置するこの店舗では、おなじみのライフスタイル商品や BMW Lifestyle の新コレクションを販売する。

BMW Vision Neue Klasse のワールド・プレミア

IAA モビリティ 2023 において、BMW グループは来場者に BMW の次世代モデルである Neue Klasse のレビューを提供する。BMW Vision Neue Klasse は、BMW ならではのスタイルで、電動化、デジタル化、循環性の各分野におけるイノベーションを結集している。ビジョン・ビークルは、デザイン、制御/操作性、効率性、持続可能性をまったく新しい次元に引き上げ、間もなく路上での体験が可能になるだろう。

IAA モビリティ 2023 の開催中、BMW Vision Neue Klasse は、サミットとオープン・スペースの両方で展示される。新しいビジョン・ビークルには、BMW グループが未来を見据えた主要分野における最新のイノベーションが導入されている。そのため、循環型経済とデジタル化の分野における BMW グループの開発技術をすでに実証している BMW i Vision Circular および BMW i Vision Dee を基盤として構築され、それらの品質をエクステリアおよびインテリア・デザイン、ユーザー・エクスペリエンス、パワートレインおよびバッテリー・テクノロジーのさらなる新開発と融合させている。

新型 BMW 5 シリーズ・セダンのプラグイン・ハイブリッド・モデルを世界にお披露目

IAA モビリティ 2023 では、電気自動車である BMW i5 のほかにも、電動パワートレインを搭載した 2 種類のモデルが展示される。早ければ 2024 年春には、最先端のプラグイン・ハイブリッド技術を採用した 2 つのモデルが、新型 BMW 5 シリーズ・セダンのラインナップに加わる。新モジュラー世代のエフィシエント・ダイナミクス・ユニットに搭載される 6 気筒および 4 気筒直列ガソリン・エンジンは、それぞれプラグイン・ハイブリッド・システム用の最新の BMW eDrive テクノロジーと組み合わせられる。その結果、出力が大幅に向上し、パワー・デリバリーがよりシャープになるとともに、効率と電気航続距離も現行モデルと比べて大幅に改善している。

新しいプラグイン・ハイブリッド・システム専用開発された電気モーターは、パワー・エレクトロニクスとともに 8 速スポーツ・オートマチック・トランスミッション（ステップトロンニック／シフト・パドル付）に組み込まれている。高度に統合されたドライブ・ユニットは、新型 BMW 550e xDrive セダン（複合モード燃料消費率：1.1 - 0.8 l/100 km [256.8 - 353.1 mpg imp]、複合モード電力消費率：22.5 - 20.1 kWh/100 km、複合モード CO2 排出量：24 - 19 g/km (WLTP サイクル、暫定値)) の場合は、複合モードの最大出力 360 kW/489 ps のうち最大 145 kW/197 ps を発揮し、新型 BMW 530e セダン（複合モード燃料消費率：0.8 - 0.6 l/100 km [353.1 - 470.8 mpg imp]、複合モード電力消費率：21.4 - 18.9 kWh/100 km、複合モード CO2 排出量：19 - 14 g/km (WLTP サイクル、暫定値)) の場合は、220 kW/299 ps を発揮する。

新しいプラグイン・ハイブリッド・モデルでは、BMW が特許を取得した技術革新により、電気モーターの出力が強化されている。プリ・ギアリング段階では、モーターのトランスミッション入力において、公称トルク 280Nm を最大 450Nm の実効トルクに高めることができる。そのため、コンパクトな電気モーターは、通常は大型のユニットを使用しなければ実現しないトルク量を増加させることが可能であり、スタート時の加速や、スピードの急激バースト時のいずれにおいても明らかな違いをもたらす。電気航続距離は、新型 BMW 550e xDrive セダンでは最大 79~90 km (WLTP サイクル)、新型 BMW 530e セダンでは 87~101 km (WLTP サイクル) となった。

リチウムイオン高電圧バッテリーを車体下部に配置し、空間を節約することで、車両の重心とラゲッジ・コンパートメントの容量の両方に好ましい効果が生まれた。プラグイン・ハイブリッド・モデルのラゲッジ・コンパートメントの容量は合計 520 リッターとなり、兄弟モデルである内燃エンジンのみを搭載したモデルが備える容量と同等であることを意味する。高電圧バッテリーが供給する使用可能なエネルギーは、19.4kWh に増加した。同時に、最大充電容量は従来モデルの 2 倍となる 7.4kW となり、高電圧バッテリーを空の状態から 3.0 時間でフル充電できるようになった。従来家庭用電源ソケットに接続した場合、車両のフル充電は 9.8 時間で完了する。

BMW i7 プロテクションを世界初公開

BMW は、IAA モビリティ 2023 で、高級セダン・セグメントにおける新世代のプロテクション・ビークルを発表する。新型 BMW i7 プロテクション（複合モード電力消費率、WLTP サイクル：30.0 kWh/100 km、暫定値）は、このセグメントでは完全にユニークな存在であり、電気駆動システムのみを搭載した世界初の認定プロテクション・セダンとなる。2 つの強力な電気モーターで駆動するこのモデルは、新型 V8 エンジン搭載型の BMW 7 シリーズ プロテクション（複合モード燃料消費率、WLTP サイクル：14.6 l/100 km [19.3 mpg imp]、CO2 排出量：328 g/km、暫定値）と同様に、VR9 クラス保護等級のすべての要件を制限なく満たしている。

いずれのモデルも、新型 BMW 7 シリーズの開発に注ぎ込まれた統合プロテクション・コンセプトに、卓越した水準の乗り心地と広々とした室内空間、先進装備、そして BMW が誇る比類なきダイナミックな性能を融

合させている。このコンセプトは、アーマースチール製の自立型ボディ構造を形成する、ユニークで新しい BMW プロテクション・コアが中心となっている。さらに、アンダーボディやルーフの追加装甲、装甲ガラスなどの装備を組み合わせた。その結果、銃器や爆発物による攻撃から、リスクにさらされた人々を保護するためのカスタマイズが可能になった。新しいプロテクション車両のガラスは、民間防護の最高クラスである VPAM 10 の要件も満たしている。

電気自動車である BMW i7 プロテクションには、フロント・アクスルに 1 基、リヤにもう 1 基の電気モーターが搭載されている。これらを合わせて 400 kW/544 ps の出力と 745Nm の最大トルクを発生させ、電気式全輪駆動システムを構築する。新型 BMW i7 プロテクションは、静止状態から時速 100 km まで 9.0 秒で加速し、最高速度は電子制御により時速 160 km に制限される。2 つのモーターから瞬時に、正確に制御されたパワーが供給されるため、攻撃から逃れるときなどに荒々しい運転や、難しい操作を行った場合でも、卓越したトラクションと方向の安定性が保証される。

このモデルのために特別にチューニングされ、最適化されたシャシー技術では、装甲による追加重量も考慮されており、その結果、どのような状況でも優れたパフォーマンスを発揮する。インテグレイテッド・アクティブ・ステアリング（前後輪統合制御ステアリング・システム）が標準装備されている点も、このセグメントのユニークな特徴である。これにより、車の回転半径が小さくなり、高速コーナリング時の敏捷性が向上し、後席乗員の快適性が改善した。20 インチのライト・アロイ・ホイールは、さらに際立った特徴である。標準装備の PAX タイヤは、空気圧が完全に失われた場合でも、最高時速 80km で走行を続けることができる。BMW オペレーティング・システム 8.5 をベースとする最新世代の BMW iDrive が搭載され、BMW カーブド・ディスプレイが装備されている。このシステムは直感的に使用でき、BMW のドライバーに馴染みのある方法で操作できる。乗員保護に関連する特別な機能も、BMW iDrive で操作が可能。新しいプロテクション車両は、新鮮な空気を供給するシステム、消火システム、フラッシュライト、無線トランシーバー、公務時用の旗用ポール、他の顧客専用オプションなどの装備によって、あらゆる用途に合わせて詳細にカスタマイズすることが可能である。

先駆的な BMW iX5 Hydrogen

IAA モビリティ 2023 で発表された BMW iX5 Hydrogen は、駆動技術分野における BMW の最高品質の革新力をさらに証明するものである。現行の BMW X5 をベースに開発された、水素燃料電池駆動のスポーツ・アクティビティ・ビークルのパイロット・シリーズが、世界中のさまざまなターゲット・グループへのデモンストレーションおよびテスト目的で運行を開始した。これにより、開発プロセスに関与していない選ばれたテスト・グループが BMW iX5 Hydrogen のステアリングを握り、その特性を初めて直接体験することができる。

BMW iX5 Hydrogen は、最新の第 5 世代 BMW eDrive テクノロジーを搭載している。高度に統合されたリヤ・アクスルのドライブ・ユニットは、水素燃料電池車のために特別に開発された、リチウムイオン技術による高性能バッテリーからエネルギーを得て、295 kW/401ps の最高出力を発揮する。電気モーターは発電機としても機能し、オーバーラン時やブレーキ時に高性能バッテリーにエネルギーを供給する。

炭素繊維強化プラスチック（CFRP）で作られた 700 気圧のタンク 2 基には、合わせて 6 キログラムのガス状水素が入り、3~4 分で充填できる。燃料電池システムでは、水素と空気中の酸素の間で化学反応が起こり、電気モーターの電力を発生させる。BMW iX5 Hydrogen は、タンクを充填せずに WLTP サイクルで 504 km

(313 マイル) を航続走行することができる。水素を動力源とする SAV は、0-100 km/h 加速を 6 秒未満で完了し、最高速度は 180 km/h を超える。

BMW iX5 Hydrogen は、ゼロ・テールパイプ・エミッションと BMW の特徴であるドライビング・ダイナミクスを備え、長距離走行性能と短時間での燃料補給を両立させている。その水素燃料電池技術は、必要な基礎条件が整えば、BMW グループの将来のパワートレイン・ポートフォリオのさらなる柱となる可能性を秘めている。継続的な変革の一環として、BMW グループは駆動システムに関してあらゆるテクノロジーを取り入れるアプローチをとっている。そのため、世界のさまざまな地域における異なる顧客要件、インフラ基準、政治的・規制的枠組みに対応できる体制を整えている。このような柔軟性により、BMW グループは、どのような状況においても市場の変化する要求に迅速に対応し、常に適切なモデルをできるだけ多くの顧客に提供することができるのである。

本件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先:

BMW カスタマー・インタラクション・センター

フリーダイヤル 0120-269-437

受付時間: 平日 9:00-19:00、土日祝 9:00-18:00

BMW ウェブサイト: <http://www.bmw.co.jp>